

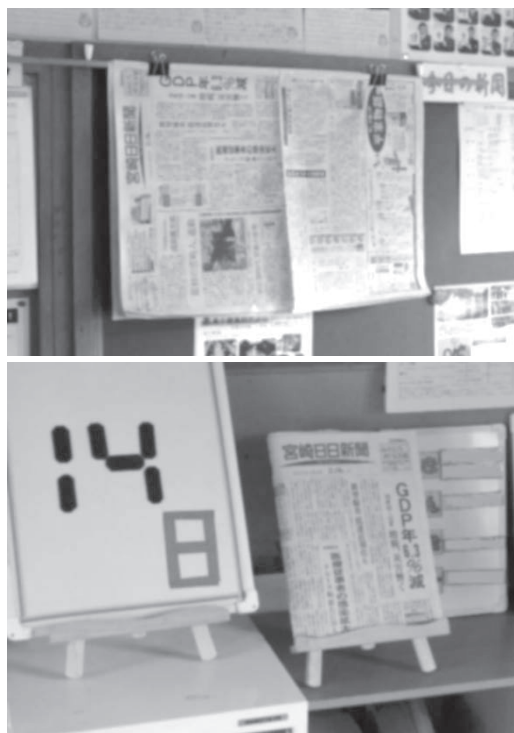
新聞を読み、新聞に親しむための実践

高千穂町立高千穂中学校
教諭 川野 将太

1 はじめに

本校は、2019年度より新しくNIE教育実践の指定を受けた。初年度である2019年度は、「新聞を読み、新聞に親しむための実践」をテーマにして取り組んだ。そのため、各学級で取り組めること、各教科で取り組めることを職員で共通実践することとした。

また、本校に進学してくる生徒の中には、小学校でNIEに関する取り組みを行ってきて、新聞に触れる機会の多かった生徒たちもいる。さらに、本校では以前より、高千穂販売所の方のご厚意で、毎日、学級に1部の宮崎日日新聞が無償で配付されており、生徒たちが過ごす教室に必ず新聞がある環境が整っている。



2 本年度の取組

(1) 図書室に新聞コーナーの設置

① 目的

- ・ 全校生徒が気軽に新聞を読むことができる場を設置することで、新聞に対する興味・関心を高める。

② 取組方法

- ・ 1週間分をまとめて置くことのできる新聞コーナーを設置した。
- ・ 全校生徒が気軽に利用しやすい図書室を利用して、新聞コーナーのスペースを確保した。
- ・ 過去の新聞についても、図書室に収納スペースを作り、自由に読むことができるようにした。

③ 取組の実際

- ・ 宮崎日日新聞以外の新聞については、これまでに読む機会が少なかったため、初めのうちは手に取って読んでいる生徒が見られた。
- ・ 各教室に配付されている新聞を読んでいる生徒も多いため、新聞を読むためだけに図書室に来る生徒は増えなかった。



図書室に設置した新聞コーナー



(2) 学級での新聞記事の掲示

① 目的

- ・ 話題になっている記事を切り取って掲示することで、新聞を手にとって読まない生徒にも興味を持たせる。

② 取組方法

- ・ 世の中で話題になっている記事や生徒の気になる記事を掲示した。
- ・ 学級の文化委員会が1週間に1度、新聞記事を切り抜いて掲示した。



③ 取組の実際

- ・ 地域（高千穂町や西臼杵地区）の話題を中心に新聞記事を掲示している学級も見られた。
- ・ 学級によっては、文化委員会で毎日取り組んでいるところもあった。



(3) 新聞を利用した1分間スピーチの実施

① 目的

- ・ 生徒が新聞を読む機会をつくり、内容を要約する力や自分の意見を発表する力を身につける。

② 取組方法

- ・ 自分の気になる記事を探し、切り取ってワークシートに貼り、記事の要約と自分の感想や考えたことを1分で発表した。
- ・ 1日に1人ずつ、朝の会か帰りの会でスピーチを行った。

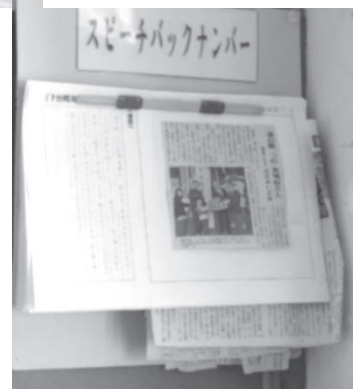


③ 取組の実際

- ・ 家で新聞を定期購読していない生徒については、学級に配付されている新聞を使うことで、全員ができるようにした。
- ・ 学級によっては、スピーチの後に生徒が感想を伝えることで、生徒たちが意欲的に取り組めるような工夫をしていた。
- ・ 先生によっては、スピーチした内容に関連する話を、朝の会や帰りの会でしてくださったことで、新聞記事や社会で起きている出来事に興味をもつ生徒が見られるようになった。



教室に掲示されている
1分間スピーチの原稿



(4) 教科での活用

① 目的

- ・ 新聞記事を使うことで、教科の内容を深めたり、身近な出来事に目を向けたりすることができるようになる。

② 取組方法

- ・ 社会科では、3年生で、「生産と労働」という単元で、非正規労働の課題とこれからのについての授業内容で宮崎日日新聞の記事を利用した。
- ・ 理科では、2年生で、月に1回「興味のある理科に関するニュース」を取り上げ、要約と感想を書く課題を行った。



理科に関する
ニュースの
ワークシート



③ 取組の実際

- ・ 社会科においては、授業で学習している内容を、現在の社会で起きている出来事として身近に感じている生徒も見られた。
- ・ 月に1度、土日の宿題としてワークシートで取り組み、定期テストで時事問題として取り上げ、出題した。

(5) 職員へのNIE研修

① 目的

- ・ 職員にNIEの取組として、どのようなものがあるのかを知ってもらうため。
- ・ 来年度に向けて、どのようにNIEに取り組んでいくかを考えるため。

② 取組方法

- ・ 講師として、NIEアドバイザーでスーパーティーチャーでもある高千穂町立上野小中学校の田崎香織先生をお招きして、全職員で研修を行った。

③ 取組の実際

- ・ 「なぜ、今NIEなのか」ということも含めて、NIEに取り組むことの意義や、田崎香織先生が実際に取り組まれてきた実践を紹介していただき、NIEの取組がより身近で簡単にできることを教えていただいた。

【参加した職員の感想】

- ・ NIEと聞くと何か特別なことを始めなければいけないのかなと思っていましたが、日々取り組んでいることをもっと良くするために、新聞を利用すれば良いのだと思えるようになりました。
- ・ 新聞の見出しを使った俳句作りを実際にやってみて、楽しかったなので、ぜひ学級でも生徒たちとやってみたいと思います。
- ・ NIEの取り組みは、生徒一人一人の読解力や表現力を身につけるだけではなく、工夫次第で地域の方々とのつながりをつくることもできることを知り、何事もやってみることが大切だと思いました。

3 成果と課題

【成果】

- 図書室に新聞コーナーを設置することで、宮崎日日新聞以外の新聞を生徒が読むことができる機会をつくることができた。
- 学級や教科で「できること」に取り組んでもらったので、学級での取組は継続した活動になったものが多く、いくつかの教科でも取り組んで新聞を活用した取組を行ってもらうことができた。
- 田崎香織先生による研修を通して、N I Eの取組を身近に感じてもらうことができ、来年度に向けて、職員全体のN I Eに取り組む意識も前向きになった。

【課題】

- 継続的に新聞を手にとって読む生徒を少しずつ増やせるような工夫を考えていくために、委員会の活動との連携もしていく必要がある。
- 教科によっては、授業の内容に合っている新聞記事が見当たらず、新聞記事を使いたいけど使えない状態も見られた。
- 学級や教科によって、取り組みに差が出てしまったので、来年度は、学校全体で共通してN I Eに関する活動を行うことで、生徒たちの変化を全職員で見届けられるようにしていきたい。